

昨夜の雷雨の激しさに、目を覚ました人は多かっただのではないかと思います。

今年の夏は本当に猛暑の日が続きました。一時は「災害レベルの暑さ」という表現もされていきました。日照りによる水不足も深刻で、喜多方市では渇水対策として日中ダムへの灌漑用水が一時放流停止となりました。台風による各地の被害も甚大でした。

そんな自然の脅威を感じた毎日の中で、甲子園の金足農の話題や行方不明になっていた2歳の男の子が、ボランティアの方に発見された話題などに心癒やされた方もまた、多かっただのではないのでしょうか。

2学期がスタートしました！

8/27(月)、2学期始業式を行い、81日間の2学期をスタートさせました。生徒のさわやかな笑顔を見ることができ、とてもうれしく感じました。始業式の式辞にも書きましたが、夏休みの成果にはとても大きいものがありました。それらを糧として、2学期大いに飛躍してくれることを願っているところです。

また、これらの成果は、保護者の皆様が家庭での子どもたちの生活を温かく見守り、ご指導いただいた事の賜と考えております。ありがとうございました。8/18(土)の奉仕作業も大勢ご参加くださりありがとうございました。おかげさまで、すがすがしい思いで2学期をスタートさせることができました。

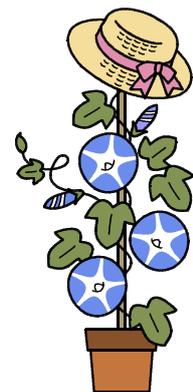
子どもたちの成長が何よりの宝と考えています。実りある学期となるよう努めて参りますので、これからもよろしくお願いいたします。

「式辞」

37日間の夏休みもあっという間に終わり、今日から2学期がスタートします。猛暑日の続く本当に暑い夏でしたが、大きな事故もなく、こうして元気な皆さんと始業式を迎えられたことを大変うれしく思っています。

この休み中も、中体連県大会をはじめ、市の青少年主張大会やシティレガッタ大会、小中学校音楽祭への参加、英語弁論大会や駅伝に向けた練習、そして普段の常設部の練習やバスを待ちながらの自主学習など、大変忙しい日常の中で、皆さん一人一人が一生懸命頑張っていたことは、大変素晴らしいことだと思います。1学期の終業式で話したようにそれぞれの計画のもとに、それぞれが自分で判断しコントロールしながら、有意義な夏休みにしようと努力したことの成果だと思います。この成果を大切にして、今後の飛躍につなげていってほしいと思います。また、一方でうまくいかなかったこと、やり残したことがあり、悔やんでいる人ももしかしたらいるかもしれません。それもまた、良い教訓として反省し、さらに同じ反省を繰り返すことのないよう、今後の活動に役立てていってください。

さて、今日からの2学期。まだまだ残暑の厳しい毎日ですが、よく言われるように、1年の中でも最も長い学期で、大きなポイントとなる学期です。実りの秋を迎えるのと同じように、学校生活における活動の成果を発揮するときです。英語弁論大会を皮切りに中体連新人大会や全会津駅伝大会、校内でも花丘祭や駅伝大会などの行事がたくさんあります。3年生においては進路選択と受験が迫ってきます。大きな山がずっと続いてやってきます。そのことを目の前にしたとき、ややもすると億劫になったり、面



倒くさくなったり、不安になったりすることもあるものですが、大切なのは、「今をどう生きるか。」と言うことです。時間は否応なく流れていきます。避けて通ることは簡単だし、逃げることも時には必要かもしれないけれど、今皆さんは人として成長するための貴重な時代を生きていることを自覚し、むしろその時間を大切に、力強く生きていってほしいと思います。そのため今何ができるか、何をしなければならないかを改めて考え、実践する、そんな2学期にしてほしいと思います。そして、いつも言っているように、皆さんにはここ、花の丘の学び舎に集う仲間がいます。また、皆さんを支えてくれる先生方がいます。その山を登る過程において、苦しいときやつらいときはお互いに力を合わせて乗り越えていきましょう。

最後に、詩人で書道家でもある相田みつをさんの「本気」という詩を紹介し、第2学期始業式の式辞とします。

なんでもいいからさ 本気でやっごらん
 本気でやると たのしいから
 本気でやれば つかれないから
 つかれても つかれがさわやかだから



<夏休みスケッチ>

各学年便りにもたくさん載っていますが、まとめて載せさせていただきます。



県大会に出場した二人



少年の主張大会



生徒会交歓会



収穫したスイカを食べる



喜多方シティレガッタ大会



駅伝・陸上練習風景



合唱練習風景



卓球部練習風景



P T A親子奉仕作業